

第1回検討会議（8月9日）で出された意見と対応する機能等

意見概要	機能	必要な施設整備（例）
① 自分の子供世代が振り返ったときに、北区はあの時変わったと、区役所を作ったところから北区はよくなっていると後々言われるような、 <u>将来につながる基本構想</u> をもとに新しい区役所を作ってほしい。	・フレキシブルな庁舎機能など多様な機能	
② 防災拠点でいえば、建物が大丈夫かどうか、これは専門家にゆだねる他ないが、 <u>どうやったら情報を集約できるか、情報の集約ができる機能</u> を区役所に持ってくるという検討をしたほうがよい。	・災害対応機能	・災害対策室
③ 建物よりも内部的な問題として、10年後、20年後を考えたときに、 <u>行きたくなる区役所</u> にしないといけない。 <u>どうやったら人が集まるか</u> を考えていかなければならない。 ④ 子供たちがこのままずっと北区に住み続けたいと思えるような <u>庁舎を造る</u> ことが人口減少を食い止めるきっかけになると思うし、人が集まる庁舎を造るきっかけにもなると思う。それができないということが現状だと思うので、 <u>大人から子供まで集まれるようなスペース</u> 、こうしたものをつくることも大事ではないか。 ⑤ 整備エリア内の <u>図書館、文化会館</u> などとの連携も考えた区役所であれば、 <u>人も集まりやすい</u> 。こうした立地状況をうまくいかしていきたい。 ⑥ 文化会館や公民館をもっと利用しやすくする。利用時間を延ばして自由度を増すことで、 <u>区役所の機能と公民館の機能の相乗効果</u> が生まれればと思う。	・一体感醸成機能 ・公共交通アクセス機能 ・施設連携機能 ・複合化	・ふれあい交流スペース ・バスストップやタクシー乗場の設置(屋根付き) ・図書館、公民館、文化会館等の公共施設と連携したサービス提供が可能とする施設や設備 ・区役所と公民館の複合化など
⑦ 北区は自然があるので活用すべきではないか。	・一体感醸成機能	・北区の自然の魅力の情報発信コーナー
⑧ <u>区役所に来るとどこへでも行ける</u> 、というようなものができるとう人が集まる。人を集める工夫を。	・公共交通アクセス機能	・バスストップやタクシー乗場の設置(屋根付き)
⑨ 20年、30年あるいは60年といった長期間の将来的な展望で <u>庁舎をつくって</u> いかなければならない。行政の業務の変化に応じてどのようにレイアウトしていくか。 <u>高齢者が集まり憩う場</u> や <u>子供が学ぶ場</u> として、集まるスペースが必要である。	・フレキシブルな庁舎機能 ・一体感醸成機能 ・施設連携機能	・ふれあい交流スペース ・情報共有発信スペース ・学習の場として図書館や公民館と連携
⑩ <u>交通の利便性</u> や <u>出張所の機能</u> についても検討して欲しい。	・一体感醸成機能	・公共交通の充実 ・出張所機能の充実